

# 板橋区議会レポート [第1号]

木田おりべの  
令和5年6月の  
本会議一般質問  
について

※詳しくは裏面をご覧ください。

- 1 防災(防災行政無線の戸別受信機の貸し出し)
- 2 子育て(区立公園洋式トイレへの幼児用補助便座の設置)
- 3 文化(子ども達の体験を通じた文化の振興)
- 4 教育(協力協定を締結した自治体との小学生の交流)
- 5 地域課題(徳丸榎の道の植え込みの整備)

幸せを感じる街 板橋をつくる。

自民党

きだ  
**木田おりべ**

板橋区議会議員

企画総務委員会(委員)

災害対策調査特別委員会(委員)

防大卒元航空自衛官  
2児の父

## 【私の志】

「事に臨んでは危険を顧みず、身をもって責務の完遂に務め、もって国民の負託にこたえることを誓います。」と自衛隊入隊の際に宣誓しました。今はその思いを、ご縁をいただいたここ板橋区のために誓います。自衛隊入隊は、歴史と伝統ある美しい日本を守りたいという一心からでした。そして、より大きな視点から日本のために尽くすべく、約13年間勤めた航空自衛隊を退官し、下村博文事務所の門を叩きました。板橋区議会議員として航空自衛隊で培った勇猛果敢な精神で区議会に臨み「幸せを感じる街 板橋をつくる。」それが私の志です。

## 木田織部 [経歴]

つよく、やさしく、まっすぐに。

- 昭和56年6月3日岩手県生まれ、岡山県育ち
- 高校卒業後、新聞奨学生を経験
- 防衛大学校人文・社会科学専攻人間文化学科卒業(第51期)
- 航空自衛隊にて約13年間勤務(3等空佐で退官)  
在職中弾道ミサイル防衛、災害派遣、防災訓練などを担当
- 衆議院議員下村博文秘書4年
- 家族に妻、長女(5歳)、長男(1歳)
- 好きな食べ物はラーメン、カレー
- 尊敬する人物は両親と妻
- 座右の銘  
「深刻な時に深刻になっても状況は好転しない」
- 板橋区議会議員1期目
- [常任委員会]企画総務委員会
- [特別委員会]災害対策調査特別委員会



## Action



今年の板橋区議会選挙において、4,898名の皆様にご信任を賜り、当選いたしました。今後とも引き続き皆様のために働きます。



水車公園にて、徳丸北野神社田遊び保存会さんによる近隣の小学校児童を対象とした田植えのお手伝いをしました。子ども達の心の拠り所となり、ふるさとへの誇りや愛着を育む文化を守っていきます。



6月に定例会が開かれ、一般質問で5項目質問し、それぞれ区長または教育長から、来年度に整備を目指すなどといった、要望に沿ったご回答もいただきました。

企画総務委員会では議案を審査するなどし、災害対策調査特別委員会では区の防災計画の見直しについて、元自衛官の視点から自衛隊との連携のあり方について提言しました。

区民の皆様の思いを受け止め、質疑や提案などを積極的に行っていきます。



4年ぶりに開催された蓮沼東町会・青年部さん主催の潮干狩り大会に準備の段階から参加しました。いつもは町会の皆さんで木更津までアサリを採ってから会場まで運ぶことができますが、今年は潮の関係で採れないことから、木更津で購入して運んできたアサリを使用しました。子どもから大人まで楽しめるイベントでした。



地域の方からご要望のあった大雨時の水たまり防止の雨水枡を区に新設していただきました。大雨が降る度に付近の方が水たまりを人力で排水していたそうです。



城北中央公園調節池工事現場を視察しました。東京都の治水事業で、約25万㎡(25mプール約800杯分)の増水を貯め、石神井川では1時間あたり75mmの降雨に対応できるようになります。工期二期のうち一期分は令和7年に完成予定です。



紅梅小サマーフェスタにて紅梅小学校おやじの会の一員として焼きそば作り。多くの温かいお言葉をいただき、ありがとうございました。



区内の各種団体さんなどから自民党として要望をお伺いし、区へお届けしています。

〒173-8501 板橋区板橋2-66-1 板橋区役所10階控室  
[連絡先] tel: 090-7419-0813  
mail: kidaoribe.itabashi@gmail.com

ホームページ



LINE



X



Facebook



ご意見・ご要望をお寄せください。





板橋区議会のwebサイトで録画配信されています。

[https://itabashi.gijiroku.com/g07\\_Video\\_View.asp?SrchID=1297](https://itabashi.gijiroku.com/g07_Video_View.asp?SrchID=1297)

## 1 防災について

(防災行政無線の戸別受信機の貸し出し)

**木田**「防災行政無線の屋外スピーカーは、大雨などの天候や建物の構造により屋内にいる住民には聞こえない場合がある。迅速確実に住民に防災情報などを届けるためにも、板橋区の一戸あたり一台、または希望する世帯、高齢者世帯、そして、情報を捉えにくい障がいを抱えた方の世帯などに一台ずつ防災行政無線の戸別受信機を貸し出し、現行の防災行政無線と同様の情報をこの戸別受信機に流すことを提案する。」

**区長**「防災行政無線の戸別受信機の貸し出しを含めた災害情報の新たな入手方法については、他自治体の事例も参考にしながら、十分に研究していきたい。」



## 2 子育てについて

(区立公園洋式トイレへの幼児用補助便座の設置)

**木田**「区立公園において、体の小さな幼児を洋式トイレに座らせた場合、便器内へ転落する危険性があるほか、それを防ぐために保護者が子どもを支えながら子どもに用便をさせなければならないなどの不便さがあるため、板橋区立公園の全ての洋式トイレに幼児用補助便座の設置を提案する。」

**区長**「幼児用補助便座については、安全性、衛生面、管理面の課題を整理し、今後の改修計画に合わせて導入を検討していきたい。」



## 3 文化について

(子ども達の体験を通じた文化の振興)

**木田**「徳丸北野神社獅子舞や、徳丸北野神社田遊びを始めとした伝統文化は後継者不足に悩まされている。この状況を改善するためには、若い世代に各種文化を肌で感じてもらう、その魅力や歴史を感じてもらうことが一番である。子ども達には目で見ただけでなく、多くの感覚で触れる機会をつくる施策を進めてもらい、若い世代に伝統文化を継承してもらうための素地を醸成してもらいたい。」

**教育長**「授業の形態を観賞型から体験型へシフトし、獅子頭などに直接触れ、肌で感じる機会を多くつくすることで、若い世代が伝統文化を継承する環境を整える。」



## 4 教育について

(協力協定を締結した自治体との小学生の交流)

**木田**「AIが人間の仕事を代替する時代が迫る今、今までの延長線上の教育を行うのではなく、個人のやる気と意欲を高めて自発的な取り組みを促す教育が必要である。AIですぐには代替できないクリエイティブにももの考える力、自立的に考えて活動する力、優しさや思いやりなどの感性そしてリーダーシップを子ども達に身に付けさせ、学力の向上に繋げてもらいたい。」

そのため、子ども達に豊かな自然や文化的体験をさせるとともに、オンラインを含め、板橋区の小学生が板橋区と協力協定を締結している自然や文化豊かな栃木県日光市の小学生と交流を図り、異なる環境で育った子ども達と交流させることで多角的な視点や考え方を持たせることを提案する。」

**教育長**「今後は、総合的な学習の時間などにおいて、オンラインを含めた他自治体児童との交流についても研究する。」



## 5 地域課題について

(徳丸槇の道の植え込みの整備)

**木田**「徳丸槇の道の側面に植えられているツツジの一部が数十メートルに渡りササの群生に覆われる箇所がある。これを放置すれば、車両の死角になる部分も生起し、歩行者を巻き込む事故に繋がりがねない。この箇所のササを根本から取り除き、恒久的にツツジの植え込みに群生の余地を残さないよう処置することを提案する。」

**区長**「ササは根による繁殖力が強く、成長も早いことから、刈り込みでは非効率であるため、今後は抜根による対策に切り替え、令和6年度に整備完了をめざす。」



## 板橋区からのお知らせ

### 自転車用ヘルメットが 2,000円引きで購入できます

板橋区では自転車用ヘルメットの着用を促進するため、区民の方が区内の事業協力店において、安全基準を満たした自転車用ヘルメットを1個あたり最大2,000円引きで購入できる助成事業を実施しています(期間と数に限り有)。



### 板橋区立小・ 中学校給食費無償化

板橋区では、昨今の急激な物価高騰の中、子育て世帯の経済的負担の軽減を図り、子育て支援を強化することを目的に、令和5年9月から学校給食費の無償化を実施中です。

